

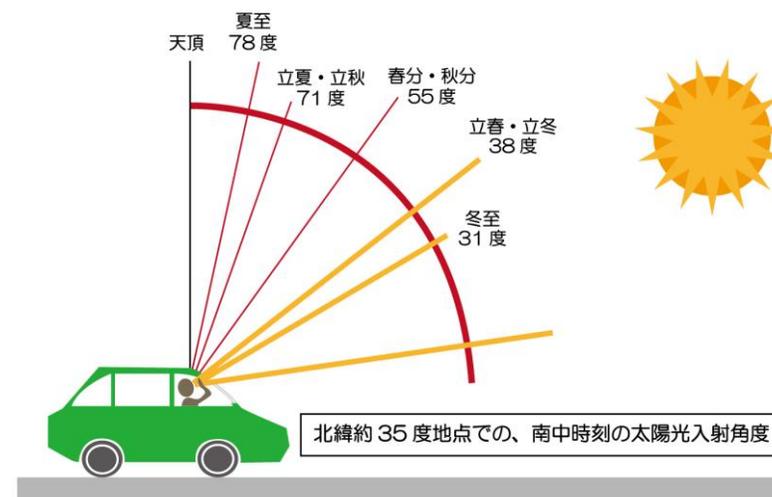
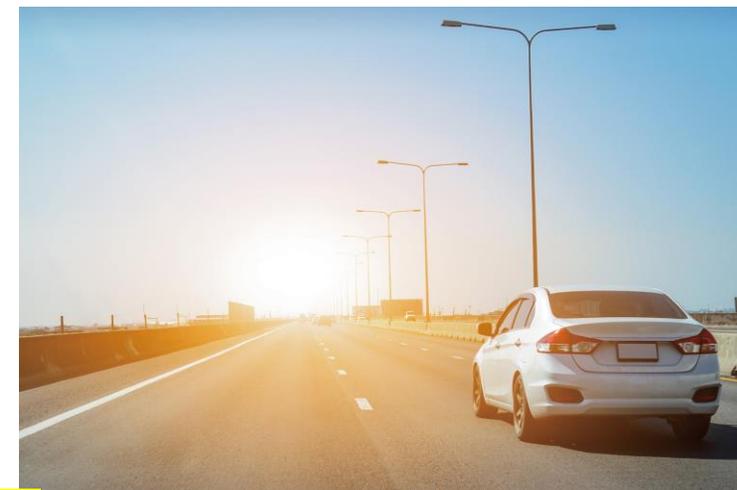
秋から冬は太陽の高度が下がり、太陽が視界に入りやすくなるため、運転中に眩しさを感じる時間帯が長い。



10～12月の夕暮れ時は、7～9月より1.8倍も交通事故が多い！

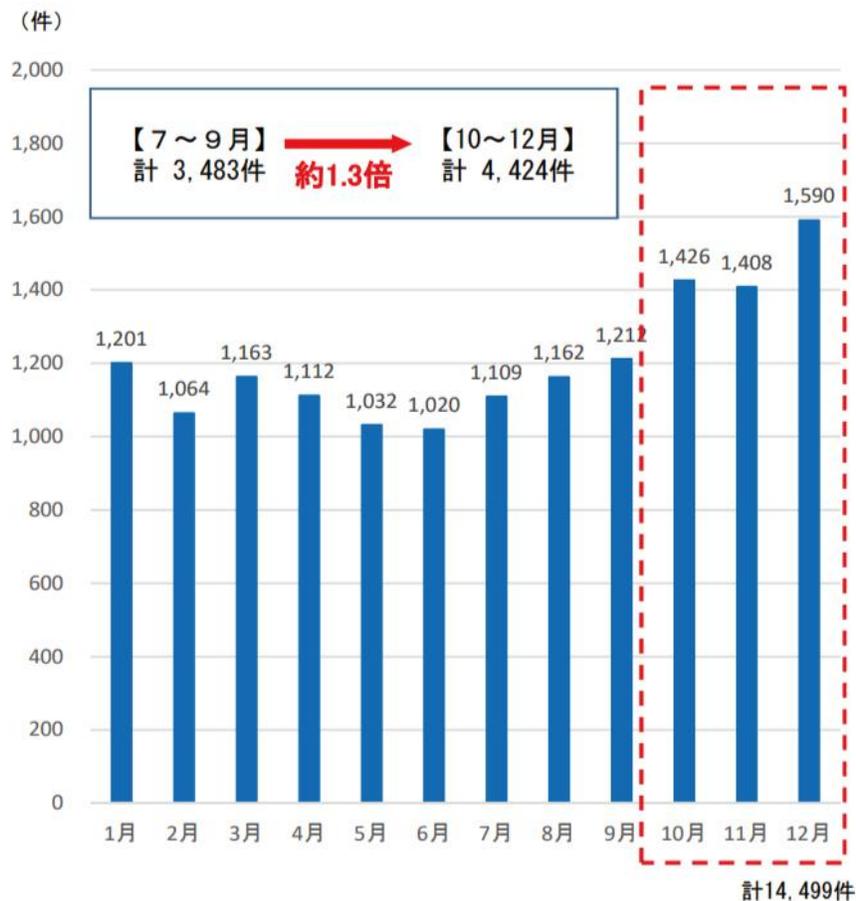
- ・ 秋以降は夕暮れ時が早まり、薄暗い時間帯が増え視界不良による事故が起きやすくなる。
- ・ 夕暮れ時は通勤等交通量が増える時間帯
- ・ 眩しさは、ドライバーだけでなく、歩行者、自転車も同様
- ・ 月別交通死亡事故件数（2018～2022年警察庁）

10～12月の夕暮れ時（日の入り前後1時間）・・・次ページ

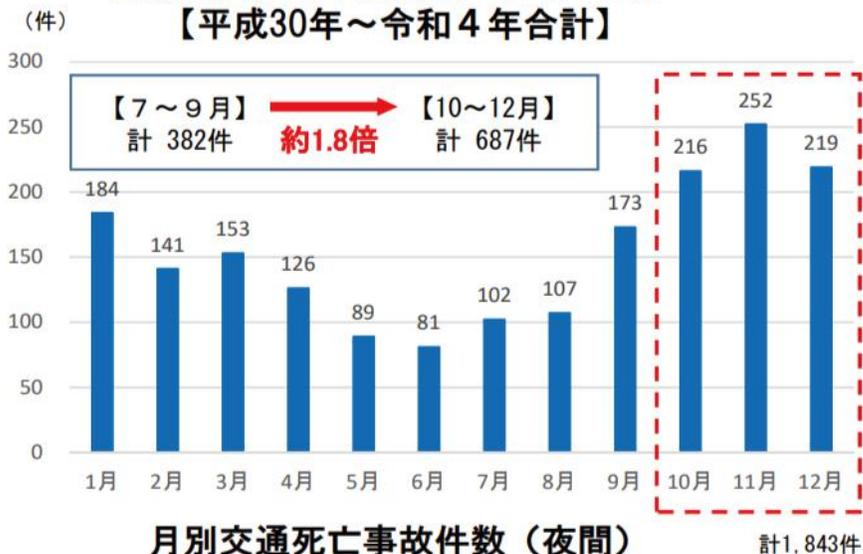


○ 夕暮れ時と夜間の交通死亡事故の状況

月別交通死亡事故件数（全時間帯）
【平成30年～令和4年合計】



月別交通死亡事故件数（夕暮れ時）
【平成30年～令和4年合計】



月別交通死亡事故件数（夜間）
【平成30年～令和4年合計】



(注) ・ここでいう「夕暮れ時」とは、日の入り時刻の前後1時間をいう(日の入り時刻は、各日の各都道府県の都道府県庁所在地(北海道は各方面本部所在地を含む。))の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。以下同じ。
・ここでいう「夜間」とは、日の入り1時間後から日の出までをいう(「夕暮れ時」とは重複しない。)